

地域の色とアーバンデザイン

1. まちのいろ

赤い街フィレンツェ

白い街スペイン南部

赤い街マレーシアペナン・ジョージタウン

2. 都市の色彩計画と行政の誘導手法について

（『京都市の新景観制度，景観行政と色彩指導について』（京都市都市計画局都市景観部参事・佐竹和男，参考文献1））より）

都市景観と色彩計画

大都市と建設省が共同で費用を負担して，景観制度の中での色彩の問題について研究をした報告書がある。これには京都市が当番市として尽力したのであるが，その中に，行政がどうした指導をすればよいかと言ったことに触れている部分がある。

まず色彩計画の考え方として，基本的な視点は三つ挙げられる。次ぎに指摘するような配慮を基に色彩誘導を進めて行かなくてはいけない。

- 1 色彩の永続性，継続性，一貫性に配慮する。過去，現在の色彩の変化を認識し，未来への予測を立てて，一過性のものとしなない。担当者が替わってもその意志が伝わらるよう，色彩計画のプロセスと根拠を明らかにし，良好な色彩が継続されるようにする。
- 2 公共性に配慮する。景観は共有財産であり，自己主張に限度があることを住民に知らしめる。色彩基準の考え方，過程を明らかにして，その合理性を住民に広め，理解と協力を得る。住民の意見を取り入れ，民主的な手続きで推進する。
- 3 関係性に配慮する。色彩計画の都市全体の中での位置づけ，地域との関係性などを総論的，総体的に考える。

3. 京都市における色彩計画

京都市市街地景観整備条例（昭和47年4月20日条例第9号（制定））

第1章 総則

第2章 美観地区

第1節 美観地区の種別

第2節 建築物に関する制限

(承認の基準)

第8条 市長は、前条第1項の規定による承認の申請があった場合において、当該申請に係る建築物が次の各号に掲げる基準に適合していると認めるときは、同項の規定による承認をしなければならない。

(3) 意匠がけばけばしい色彩、過度の装飾その他周辺の町並みの景観に違和感を与えるものでないこと。

京都市市街地景観整備条例施行規則（昭和47年4月20日規則第35号（制定）、平成8年5月23日規則第22号）

(承認の基準の技術的細目)

第5条 条例第8条第2項に規定する技術的細目のうち美観地区の種別に応じたものは、別表に掲げるとおりとする。

別表(第5条関係)

2 条例第8条第1項第3号に掲げる基準の適用に関し必要な技術的細目

第5種地域

(2) 特定壁面の色がけばけばしいものでないこと。

4. 都市の色の調査

1) 調査方法

・視感比色方法

適当な色見本（調査用色彩カラーコードやマンセルブック、建築用色見本など）を用いて、人間の目で感覚的に比較して色を特定する方法。

・計器測色法

ポータブルな色彩計測器を用いて壁面を直接あるいは間接に光学的に測定してデータをとる方法。

2) 『風土に基づいた都市色彩計画に関する研究 - 東京都江東区を事例として - 』（参考文献6）より

調査対象地区内の色彩計画の提案を行うために、

既存建築物の外壁色を測色し、その色彩分布の傾向を分析する。

風土色を、自然環境に関わる色と歴史・文化環境に関わる色に分けて調べ、その色彩群（パレット）を抽出する。

項と 項の分析結果と、対象地域の特性を踏まえ、各地域別の色彩特徴を出す。

5．ラッピングバス

バス車体の広告は京都の街に似合わない（街の色研究会・京都のホームページより）

京都市交通局で企画，試験運行されている車体を全面広告とした市バスを調べました。交通機関といえども都市景観を大きく乱し，破壊につながる恐れが大きく，京都の街に調和しないと考え，企画の中止を強く提言します。

京都市には他都市に比べて厳しい屋外広告物に対する規制があり，全国への範たるものとして誇りにしてきました。にもかかわらず，自らが公共交通機関である市バス車体を全面にわたり広告媒体にすることは，市が京都の景観を守るために定めた広告規制を自ら破る矛盾を犯すことになります。日本を，そして世界を代表する美しい歴史文化都市・京都を謳うのであれば，屋外広告物規制から見ても問題のあるこのような企画を自粛することが知性ある選択と考えます。

見たくないテレビの広告ならチャンネルを換えれば済みます。しかし，車体全面に広告をまとった市バスは市内のあらゆる所へ，景観規制の厳しい美観地区をはじめ風致地区にいたるまでこれ見よがしに動き回ります。その有様は多くの市民や京都を訪ねる内外の観光客にとって，全く迷惑な押しつけ行為と映るのではないのでしょうか。

（中略）

美しい京都を守り，伝え，発展させるため市はさらに不断の努力を重ね，自らを律し，これに反することがらには断固として適切な行政を行うよう要望します。

注：「街の色研究会・京都」は京都の都市景観を色彩の側面から調査，研究している市民研究グループです。

街の色研究会・京都 代表 秋田宗平

6．都市デザイン

・都市デザインが行なうべき行為（参考文献8）より）

物的空間を総合的に形態化し組織化する設計行為

システムとしての都市計画と個別の空間を取り扱う建築デザインとの間を埋める行為

都市空間のなかで実際に生活する人間の空間感覚にもとづいて環境を実態化する行為

場所に根ざした，あるいは周囲の環境と連携した固有性のある空間を形成する行為

新たな生活の枠組みとなる空間のあり方に関する合意，あるいは環境への参加を導き出す行為

想定される諸活動のコンセプトと空間のイメージを実態化する行為

「人間がその土地に生きて暮らしてゆくためのぎりぎりの必要から生まれたものは美しい。」

（上越市高田の雁木についての杉みき子氏の言葉，参考文献9）より）

7. レポート課題

以下の課題について，A4判3枚以上のレポートを提出してください。書式は自由です。

- 1) 熊本市の気候は，空気環境も含めてどのように評価すべきであろうか？問題点はないだろうか？問題点があるとすれば，どのようにすれば解決できるであろうか？県立大学周辺と市の中心部（市役所，アーケード街付近）の気候に差はあるであろうか？自分の出身地などの気候と比べてどうであろうか？講義で紹介したトピックを踏まえて述べてください。
- 2) 熊本空港で離発着を行う航空機の騒音について，どのように評価すべきであろうか？もし他の空港における騒音についての知識があるならば，比較してみるとどうであろうか？また，他の交通機関からの騒音と比較してみるとどうであろうか？例えば，将来，九州新幹線が開通すれば，どうであろうか？
- 3) 熊本市中心部（市役所，アーケード街付近）における光環境や色環境について，どのように評価すべきであろうか？良い点はないだろうか？もしくは問題点はないだろうか？問題点があるとすれば，どのようにすれば解決できるであろうか？「熊本」という風土性，独自性を踏まえて述べてください。
- 4) あなたにとっての「親水空間」とは，どこか？その場所のどこが良いのか？どの点が気に入っているのか？わかりやすく説明してください（必要であれば，写真や図表などを用いてもかまいません）。
- 5) 講義についての感想，意見，批判など自由に。特に，この科目は今年度開講科目ですので，「こうした方が良かった」という意見を希望します。

締切：2002年2月18日（月）

提出先：辻原研究室（環境共生学部棟旧棟（生活科学部棟）4階）まで

（電話：096-383-2929（内線492），E-mail：m-tsuji@pu-kumamoto.ac.jp）

もしくは，

平川助手室（環境共生学部棟旧棟（生活科学部棟）4階）まで

（電話：096-383-2929（内線481），E-mail：hirakawa@pu-kumamoto.ac.jp）

なお，第1回の講義の際にも説明したとおり，成績は，出席点（毎回の感想）とレポートを総合して評価します。定期試験はありません。

8. 参考文献（〔〕内は，熊本県立大学附属図書館所蔵情報）

- 1) 『「街なみの色」 - 21世紀の京都に向けて - 1997年度年報』（街の色研究会・京都編，街の色研究会・京都，1997年5月，¥3,000，ISBN：なし）〔所蔵なし〕
- 2) 『岡山商科大学学術研究叢書3 都市景観環境と景観保全・形成政策 - 景観色彩の分析と色彩計画をめぐって -』（飯島祥二，岡山商科大学，2001年3月，価格不明，ISBN：4-907734-02-6）〔書庫，518.81:127，0000254841〕
- 3) 『増補新装版 公共の色彩を考える』（公共の色彩を考える会編。青娥書房，1996年9月，

- ¥2,940, ISBN: 4-7906-0161-7) [開架2, 518.811Ko 54, 0000256216]
- 4) 『まちの色をつくる - 環境色彩デザインの手法』(吉田慎吾, 建築資料研究社, 1998年10月, ¥3,045, ISBN: 4-87460-566-4) [開架2, 518.811Y 86, 0000249657, 0000249658]
- 5) 『都市の風水土 都市環境学入門』(福岡義隆編著, 朝倉書店, 1995年4月, ¥3,675, ISBN: 4-254-16332-0) [開架2, 51911F 82, 0000220148, 0000221369, 0000221370]
- 6) 『風土に基づいた都市色彩計画に関する研究 - 東京都江東区を事例として - 』(尾崎真理・金敬仁・小林正美, 日本建築学会計画論文集, 第511号, pp.147-152, 1998年9月) [所蔵なし]
- 7) 『都市環境デザインの仕事』(鳴海邦碩+都市環境デザイン会議関西ブロック編, 学芸出版社, 2001年11月, ¥1,995, ISBN: 4-7615-1176-1) [開架2, 518.811N 53, 0000256354]
- 8) 『都市デザインの手法 - 魅力あるまちづくりへの展開/改訂版 - 』(鳴海邦碩・田端修・榊原和彦編, 学芸出版社, 1998年3月, ¥3,150, ISBN: 4-7615-3020-0) [開架2, 518.811N 53, 0000225459, 0000225460]
- 9) 『おはなし版画集“がんぎ”第2集(新潟県上越市立高田西小学校・6年生卒業記念児童版画集)』(植木哲夫編, 昭和51年度6年生, 1977年5月, 非売品) [所蔵なし]

9. 参考URL

- 1) 街の色研究会・京都 (<http://www.kyoto-art.ac.jp/nara/machiuro/matiirotp.html>)
- 2) 京都市役所 (http://www.city.kyoto.jp/koho/ind_h.htm)
- 3) 公共の色彩を考える会 (<http://www.sgccpp.jp/>)
- 4) 都市環境デザイン会議関西ブロック (<http://web.kyoto-inet.or.jp/org/gakugei/judi/index.htm>)
- 5) 講義資料のダウンロード (<http://www.pu-kumamoto.ac.jp/m-tsuji/kougi.html/chiki.html/chikikan.html>)

10. スライド

西欧のパサージュ